

『曹操集譯注』安徽亳縣「曹操集」譯注小組【魏時代(220～280年)の記録】

御物有尺二寸金銀鉄鏡一枚、皇后雜物用純銀錯七寸鉄鏡四枚、皇太子雜純銀錯七寸鉄鏡四枚、貴人至公主九寸鉄鏡四十枚。

(曹操の御物には約25cmの金銀鉄鏡1枚、皇后や皇太子の雜物には銀で錯した約16cmの鉄鏡4枚、貴人や公主にいたっては約21cmの鉄鏡40枚があった)

『鄴中記』(欽定四庫全書・史部【後趙(319～351年)時代の記録】

石虎三臺及宮内中鏡有徑二三尺者純金蟠龍雕飾

(後趙国の皇帝石虎の宮中には径が2.3尺(53cm)の大きさの金で彫飾された蟠龍(鉄)鏡があった)

『北堂書抄』卷一百三十六(隋・虞世南)【隋(581～618年)時代の記録】

鄴中記云石虎宮中鏡有徑二三尺者純金蟠龍雕飾

魏武帝上雜物疏云御物有尺二寸金錯鏡一枚皇太子雜用物純銀錯七寸鉄鏡四枚貴人至公主九寸鉄鏡四十枚。

明鏡四規・抱朴子云見上、純銀七寸・魏武雜誌物疏見上、金蟠龍・鄴中記見上、銀龍頭・東宮舊事見上、金錯鉄鏡・魏上雜物疏云有尺二寸金錯鉄鏡一枚補、純金雕飾・鄴中記見上

『初学記』卷三十五(唐・徐堅他『奉勅撰』)【唐(618～907年)時代の記録】

…金錯 銀華・魏武帝上雜器物疏三十種有金錯鉄鏡一枚九寸銀華小鏡見敘事九寸、三尺劉振別傳日以九寸明鏡面視之日識己形當令不忘如此其神不疾患不入鄴中記日石季龍三臺及内宮中鏡有徑二三尺者有五寸者

『太平御覽』部七一七(宋・李昉他『奉勅撰』)【宋(967～1127年)時代の記録】

…魏武帝上雜物疏日御物有尺二寸金錯鏡一枚皇太子雜銀錯七寸鉄鏡四枚貴人至公主九寸鉄鏡四十枚 …鄴中記日石虎三人臺及内宮内鏡有徑二三尺者純金蟠龍雕飾

『全上古三代秦漢六朝文』(清・嚴可均校輯)【清(1644～1912年)時代の記録】

全三国文卷一・魏武帝…上雜物疏一御物有尺二寸金錯鏡一枚皇后雜物用純銀錯七寸鉄鏡四枚貴人至公主九寸鉄鏡四十枚・書抄一百三十六、初学記二十五、御覽七百一十七

賀川光夫「金銀錯嵌珠竜文鉄鏡一伝日田市ダンワラ古墳出土」

別府大学史学研究会『史学論叢』第23号 1993 より

※ 魏武帝曹操のことを記した『曹操集譯注』や五胡十六国時代の後趙国皇帝石虎のことを記した『鄴中記』には鉄鏡のことが記されています。隋の虞世南が『北堂書抄』でそれらの記録を整理し、唐以降もこのことを記録として残しています。

※ これらの文献は、賀川先生が上記論文を書く参考資料として掲載していたものをそのまま引用させていただいています。